

# 不登校が怖くて 無理をしたら...



## 避難先での新しい学校への不安

一般的に、転校による環境や人間関係の変化は、心への影響が大きいと言われています。ましてや今回は心の整理が追い付かず、原発関連のいじめのニュース等もあって、いっそう不安や戸惑いを感じた子どもが多かったと思います。進路や将来の目標にも大きな影響を及ぼしました。こうした子どもを受け入れる学校等では、一人ひとりに応じた細やかな配慮や柔軟な対応が必要とされます。

### 子ども・若者の声

- 転校初日の挨拶で、親から「愛知の人が助けてくれたからお礼を言うように」と言われており、「支援物資が愛知からも届いた。ありがとう」とあいさつした。担任が職員室で話したらしく、いろんな先生が話しかけてくれて優しいなと思っていた。  
(宮城県石巻市:当時小学6年生)
- 小学校2年の途中から愛知の学校に転校。話しかけてくれる子は多かったけど、人見知りで、なかなか楽しい感じで行くことはできなかった。登校前に「今日は行けません」と泣いたりしていた。福島からきたことをみんな知っていて、自分が知らない子まで自分のことを知っているのが嫌だった。  
(福島県福島市:当時小学2年生)
- 避難していきなり4月から知らない小学校に放り込まれると思うと、「本当に行くの?」と不安で泣いた記憶がある。転校先の校長先生が家まで声をかけにきてくれるなど、いろいろ配慮してくれていたけど、当時は感謝する気持ちにはなれなくて、行きたくないという気持ちが大きかった。今思えばすごいことをしてくれていたんだなと感じる。  
(福島県富岡町:当時小学5年生)

# 311県外避難者について考えよう